

米軍・軍属による福知山自衛隊駐屯地での実弾射撃訓練について 二つ目の米軍基地をつくるな 各団体 関係自治体に要請



10月6日 京都府庁



京都府の主な説明

(カッコ内は府民の会。○は京都府側の説明)

- 半年に1回の訓練が資格のために必要。キャンプ富士へ今も行っているが7～8時間かかる。5日ほど泊で行っている。日帰りできない。効率悪い。米側から要請があった。11月から3～4か月に一回、一人年2回。日帰りでするとのこと。武器・弾薬も毎日往復する。これは、自分たちで管理すると言っている。自衛隊の管理規定で訓練はする。対象は、銃を使う人はすべて必要と聞いている。銃使用の許可をもらっている人は必要。(日帰りで持って帰ってするのか。何発撃ったと管理するの？沖縄では、道に弾捨てられている。米軍はそういうことをしている。)
- まず福知山市に丁寧に説明せよと。福知山市の意向を聞いて対応する。福知山市に説明をするということになっている。
(武器・弾薬はいくつもの自治体を通る。沖縄をはじめ守られるべきことが守られていない)
- 銃器を運ぶ車は前後にマークを付けると取り決めてある。安心安全にかかわることについては、これまで通り、同様に言う。安心安全を前提に管理されることと思う。府が何もしないということはない。府民でもあるので安全安心について求める。
(福知山だけ説明をしたのか。)
- ：射撃場の周囲の人だけ説明するとは聞いている。
(弾の扱いに関していろいろ事件が起きている。管理をきちっとしている自衛隊でも起きている。米軍は違う。管理できるのか？場所は射撃場に特定なのか？)
- ：相手は、射撃場と言っている。
(日米合同委員会、閣議決定までに、府が詳細の説明を受け、安心安全の立場から、府民への問題のある所は指摘すべき。そうした日程はあるのか。)
- ：福知山市と連携して対応する。

京都府への要請には、梶川代表、森下代表をはじめ、9名が参加。梶川代表が要請書を手交し、片岡事務局長が要請内容を説明しました。

この中で、
実弾射撃訓練をする軍

属はイラク戦争で市民を多数殺傷し問題となったシエネガ社の軍属だと指摘。さらに、京丹後では、バスでの集団通勤など、防衛省が約束したことが守られていない。軍属は民間人で、説明通りとなるか保障はない。福知山自衛隊基地が日米共同使

用で二つ目の米軍基地となるのは認めがたいとし、府として詳細な説明を受け、対応するよう求めました。
京都府は米軍基地問題担当の総務調整課塩見参事が対応しました。府側の説明では、日帰りで実施、武器・弾薬も毎日往復するとしました。防衛省は射撃場を利用すると説明しているとも述べました。
私たちは、要請書で4つの問題(裏面参照)を指摘し、京丹後で起きている住民の安全安心を脅かす事故が地域的に広がる恐れがあり、中止を求めるよう要請しました。

米軍基地いらない京都府民の会は、10月6日、米軍基地の米軍と軍属が自衛隊福知山駐屯地で射撃訓練を11月から実施したいと申し出ている問題について、京都府に要請書を提出。中止を求めるよう要請しました。
また、福知山市の平和委員会や新婦人は9月末に福知山市に申し入れをし、新婦人は府と市にFAXでの要請運動をしています。10月7日には、京都総評、福知山地労協、京都自治労連、福知山市職労が、福知山市(市長公室長坂氏対応)に要請を行いました。
京都府は福知山と連携して対応するとし、福知山市は、射撃場のある「室」地域への説明がおこなわれ、広域の課題があれば府が調整するとしました。いずれも住民の安全安心は大切としており、事態の重大性にみあう対応を求めました。

発行：米軍専用レーダー基地の設置の撤回を求める京都府民の会(略称)米軍基地いらない京都府民の会
連絡先：京都市中京区壬生仙念町30-2ラポール京都5階
京都総評内 京都憲法共同センター気付
☎075-801-2308 fax075-812-4149
過去のニュースは、URL:<http://www.labor.or.jp/sohyo/xband-home.html>で見ることができます。

16年10月 6日

京都府知事 山田 啓二 様

米軍専用レーダーの撤去を求める京都府民の会
(略称：米軍基地いらない京都府民の会)

連絡先：京都市中京区壬生仙念町 30-2 ラボール京都5階
京都総評内 京都憲法共同センター気付
電話 075-801-2308 FAX075-812-4149

代表委員 共同代表：

米軍基地建設反対丹後連絡会代表	岩崎 晃
京都総評議長	梶川 憲
京都平和委員会会長	岡田 英樹
京都自治労連委員長	池田 豊
新婦人京都府本部会長	森下 総子
自由法曹団京都支部幹事長	中村 和雄
安保破棄京都実行委員会代表委員・京教組委員長	河口 隆洋
京都府商工団体連合会会長	久保田憲一
京都民主医療機関連合会会長	尾崎 望
事務局長：京都平和委員会事務局長	片岡 明

京丹後経ヶ岬米軍レーダー基地所属の軍人・軍属 による実弾射撃訓練についての要請書

日ごろのご活躍に敬意を表します。

京丹後市・経ヶ岬にある米軍レーダー基地所属の軍人・軍属による実弾射撃訓練が、福知山市の自衛隊駐屯地で行われる計画が判明しました。

米軍の要請を受けて動いている防衛省の説明では、射撃の資格維持のために射撃訓練は不可欠で、現在は東富士演習場で実施していますが、遠距離のため基地の警備が手薄となることから、福知山の自衛隊駐屯地を使用したいとのこと。そして、年間に4回20日間程度利用し、軍人・軍属はバスで、使用する武器・弾薬は別輸送で運ぶとし、本年11月から使用したいとしています。

私たちがまず指摘しておきたいのは、射撃訓練をする軍属の実態です。米陸軍「経ヶ岬通信所」における「警備」の状態は、軍属が拳銃とともに小銃弾を装填したと思われる弾倉を装着した自動小銃を身体の前にかかえて即応態勢でいる実態にあるということです。これほど基地外の住民に対して威圧的な姿は、もはや「在日米軍基地」とはいえない、各地の米軍基地と比較して異常な状態です。この「警備」を行うシエネガ社は、当初「シエネガ・ブラックウォーター・ソリューションズ」社と言い、イラクで米軍の警備などを請け負い、市民を多数殺傷するなど大きな問題を引き起こした軍事専門の企業（現在は「シエネガ・トータル・アセット・プロテクション」）です。

さらに、そもそも米軍基地設置に関して、防衛省は当初の約束違反をいくつもしてきました。

基地設置にあたっての環境破壊、集団でのバス通勤を反故にし、交通事故の際の対応をしなかったなどです。さらに第二期工事を前に、基地拡張のため新たな土地を取得しようとしています。米軍基地が住民の安全を脅かし、不安をもたらしている中、他地域にも広げるような今回の動きは到底容認できるものではありません。防衛省は、地元の理解と協力が不可欠とし、早期に理解を得たいとしています。この点では、地元の福知山市長や京都府知事の姿勢が問われています。

私たちは、以下の点を指摘します。

(1) 射撃訓練は、米軍の場合、実戦経験があるとともに、紙の標的を撃つだけでなく、「テロリスト制圧」の訓練も入っており、近隣の住民の不安を一層強くします。

(2) 日米共同使用の基地に指定されることから、府内に「二つ目の米軍基地」を設置することとなり認めがたいことです。

(3) 米軍・軍属が、公私を問わず福知山市に来ることにつながり、事件や事故の発生が拡大することから、市民の安全の面から憂慮すべきことです。

(4) 軍人・軍属はバスで、武器・弾薬は別車両で運搬するとしていますが、現在の米軍基地から武器・弾薬を外に出すことは危険です。

そのため、私たちは、以下のことを求めるものです。

記

一、京都府知事が、経ヶ岬の米軍・軍属による福知山自衛隊駐屯地での射撃訓練実施計画について、住民の安全・安心を守る立場から反対し、中止を求めること。

以上

府民の会からのお知らせ

○11月6日 いらんちゃフェスタ2016に参加しましょう。(詳細は前号参照)

京都市内からのバスはまだ空席があります。申し込みは、府民の会まで。

メール：m-tsuji@labor.or.jpまで

○新しいチラシを作成しました。PDFで取り出せます。(1面の下部のURLを開いてください)

○12月5日に北東アジアの平和構築とミサイル防衛についての学習会を予定しています。詳細は追って連絡します。